

平成28年度 第1回 学校協議会まとめ

大阪府立泉北高等支援学校

- 1) 実施日時 平成28年7月 1日(金)
午後3時30分から午後5時15分
- 2) 実施場所 本校応接室
- 3) 出席委員 田村 仁彦氏 (前堺市立上神谷支援学校 校長) 協議会会長
八田 忠敬氏 (元社会福祉法人コスモス理事長)
井上 直子氏 (堺市子ども相談所虐待対策課長)
松林 利典氏 (堺市障害者就業・生活支援センター センター長)
立山 清美氏 (大阪府立大学リハビリテーション学類講師)
吉原 雅子氏 (本校PTA会長)
※オブザーバー 赤阪 博之氏 (堺市立上神谷支援学校校長)

4) 内 容

① 開会(教頭)

実施要項を確認
本日の協議会が成立
新会長を承認

② 校長挨拶

③ 委員の紹介

④ 会長挨拶

⑤ 協議

1. 平成28年学校経営計画等について

(校長)

昨年度の学校協議会での意見をふまえ、教育委員会の指導のもと、今年度の経営計画を作成した。

- ・作業学習のあり方を検討、継承できる人材育成を行なう。
- ・28年度より実施の「ライフスキル」について、指導内容を充実させる。
- ・A型事業所の作業内容を見極めて、今後の進路に生かす。
- ・生徒の意欲を引き出し、自立にむけて指導指標となるキャリアプランニングマトリックス表を充実させる。
- ・新たな職場実習先の開拓にあたって、企業団体へのアピールを積極的に行なう。
- ・中学校との連携、個別の教育支援計画の引き継ぎを強化する。
- ・選挙が18才以上となったことをふまえ、政治的教養を育む教育を推進する。
- ・主任等へ若い人材の登用をすすめる。
- ・道徳教育を充実させる。
- ・人権研修「保護者の立場から学校に期待すること」を実施する。
- ・西区が校区に入ることで、防災上新たな想定が必要である。

(委員)

- ・初めて参加させていただき、参考になった。義務教育の学校から高等部にあがり、保護者から指導法の違いにとまどうといった話も聞く。

(委員)

- ・義務教育の間は守られている感があった。高等部にくると、自分でやらせてください、ということが多くなった。本人の自立にむけて必要なことと思っている。

(会長)

- ・大きくなったらどうなるかというイメージ作りが小中で段階必要であろう。

(校長)

- ・できるだけならかに移行できるよう小中高の連携をよりいっそう図っていききたい。

(委員)

- ・卒業生のアフターケアについてはどうか

(校長)

- ・エマリス堺と連携して行なっている。

(委員)

- ・児童養護施設の集団生活における人間関係づくりが大変なものと感じている。暴力や性の力といった対人関係の問題に発展しているケースがある。プログラムを作成し指導してきたが、ストレスがかかったときに発信できずに本人がうまく対処できないことがある。年齢が上がれば社会の法の枠組みの中で対応せざるをえなくなり、思春期の子どもをあずかることの難しさを感じる。

(委員)

- ・A型作業所は堺市内に14事業所、17箇所ある。作業内容は軽作業など。今後、連絡会をつくり、勉強をしていく体制のようである。参考にしてほしい。
- ・就労移行支援事業所は堺市内に17箇所あり、合同説明会も実施されている。学校にも依頼があれば出向くそうだ。
- ・卒業後の定着支援を行なっている。今後ともバトンタッチの時期や方法について学校と連携を図っていききたい。
- ・3年生の夏に就労したい生徒を対象に、職業評価等を行なう就労ゼミを実施している。

(委員)

- ・委員の意見をふまえ、学校経営計画がグレードアップした。今日、保護者の話を聞いて、中学校から高等部に入学する際の本人・保護者への意識づけが必要に思う。

(委員)

- ・びわこ学園では、「命を守る」ことを大切な柱と考えて実践されてきたが、だんだん「命を強める」という取り組みに変化してきた。本校での柱としても大切にしてほしい。
- ・「グループホームで生活する」ニーズは高いが、数的にも対応しきれず制度の変化につながっている。

2. 教科書選定について

(教頭)

- ・各学年での使用教科書、選定理由を説明

(委員)

- ・ビジネスマナーの教科書がわかりやすい。よい教材である。

5) まとめ

(会長)

- ・昨年度の学校協議会の意見を取り入れた学校経営計画を今年度つくっていただいた。進捗を期待している。

6) 校長謝辞

- ・本日も貴重なご意見を頂戴し、ありがとうございました。今後また人権研修への委員の方のご協力をお願いしたい。特に今年度は、保護者の立場よりお話を聞けるような人権研修を実施したいと考えている。

7) 次年度の連絡

平成28年11月 4日(金)に実施予定。また、調整させていただくので、よろしくお願ひしたい。